

## 「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

## ～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

## ＜本年度の学力向上基本方針＞

- 三橋中「授業規律5カ条」の継続的実践。
- 授業の工夫・改善。
- 家庭学習の習慣化「粘り強く挑戦し、自分の長所を伸ばす」

## ＜本年度の学力向上策＞

- 1 学力向上の基盤となる授業規律の確立
  - (1) 三橋中「授業規律5カ条」を継続的に実践する。
  - (2) チャイム3分前着席、チャイム始業を徹底する。
- 2 授業の工夫・改善
  - (1) 各教科における「基礎的・基本的事項」を明確にして、その定着を図る。
  - (2) 4つの因子に基づいて、授業の工夫・改善を図る。
  - (3) 「特別の教科 道徳」の授業改善・評価については、小・中一貫教育の中で、小学校と連携し、準備を行う。
- 3 家庭学習の習慣化
  - (1) 「学習の手引き」に教科ごとに家庭学習のポイントなどを内容とした「家庭学習のすすめ」を掲載し、積極的な活用を周知していく。
  - (2) 理科(授業時数増)については、基礎学力強化テスト(年6回実施)、TT授業の実施等により基礎学力および科学的思考力の向上に取り組む。
  - (3) 学習アドバイザーの増員、漢字検定の実施日数の増加などの改善に取り組む「三橋中学校チャレンジスクール」と連携を図り、学習習慣の確立の一助とする。  
なお、上記の「授業の工夫・改善」及び「家庭学習の習慣化」については、全国学力・学習状況調査とさいたま市学習状況調査の結果を積極的に活用する。  
特に、次の2点を踏まえ、分析、活用を図る。
    - ① 三橋中の各教科の成果と課題を分析し、全担当教員で実態を把握し有効な活用方法を検討する。
    - ② 学力と生活習慣との相関関係に着目しながら生活習慣調査の回答を分析し、具体的な活用方法を検討する。

## ＜本年度の振り返り＞

- 1 「授業規律5カ条」が定着し、落ち着いた学習環境で授業ができた。継続する。
- 2 各教職員が4つの因子に基づいたアンケートを基に授業の工夫・改善に取り組んだ。また、2回目のアンケートを分析し、来年度の授業改善の視点を明確にしていきたい。
- 3 今後は、アクティブラーニングの視点での授業改善を教科会で検討・研修し、本格的に始める必要がある。
- 4 家庭学習の習慣化の一助として「学習の手引き」を考えていたが十分に機能したとは言えない。さらに効果が上がるよう検討する必要がある。